

国家基本政策委員会合同審査会ニュース

H22.3.31 第174回国会第2号

3月31日(水) 第2回の合同審査会が開かれました。

1 国家の基本政策に関する件

- ・谷垣禎一君(自民)及び山口那津男君(公明)が、鳩山内閣総理大臣と討議を行いました。

(討議者及び主な討議内容)

谷垣 禎一君(自民)

- ・国家公安委員会委員長がSPを連れず夜の街に出かけたことは、危機管理上問題ではないか。鳩山内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・鳩山内閣総理大臣は、元秘書の公判が終わったら事実を国会で説明するとしていたが、結審したのであればこれを即刻果たす意思はあるのか。
- ・普天間基地移設問題について、鳩山内閣総理大臣の持っている腹案は沖縄の負担軽減、基地の危険の除去等に関して現行案より優れていると思っているのか。特に2014年までに普天間の危険を軽減できるかどうかを伺いたい。

鳩山 内閣総理大臣

- ・普天間基地について、本来真っ先に基地の危険を除去しなければならなかったのに、なぜ自民党政権のときに13年間も基地の移設を進められなかったのか。

山口 那津男君(公明)

- ・政治資金問題、郵政改革の閣内不一致、国家公安委員会委員長の危機管理意識の欠如等、現内閣に関するこれらの問題について、鳩山内閣総理大臣の認識を伺いたい。
- ・郵政改革について、以前の民主党提出法案では郵貯預入限度額を500万円に引き下げるとしていたのに、今回は2000万円まで引き上げる方向としているが、方針転換したのか。